

結果の要約

1 職業

秋田県の15歳以上就業者数(549,994人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が172,571人(15歳以上就業者数の31.4%)と最も多く、次いで「事務従事者」が89,810人(同16.3%)、「販売従事者」が67,030人(同12.2%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が5,994人(12.3%)増、「保安職業従事者」が352人(4.1%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が2,420人(16.5%)減、「運輸・通信従事者」が3,279人(14.8%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が34.8%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が30.0%、「販売・サービス関係職業」が23.7%、「農林漁業関係職業」が10.9%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.4ポイント、0.3ポイント、0.2ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」が2.4ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.6時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が46.6時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.3時間、「管理的職業従事者」が43.9時間などとなっている。平成12年と比べると、「農林漁業作業者」が0.8時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が1.8時間減、「販売従事者」が1.7時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が143,009組(夫婦数298,073組の48.0%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が72,889組(同24.5%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が19,171組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の13.4%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「農林漁業作業者」である夫婦が16,775組(同11.7%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は90,067世帯(住宅に住む一般世帯386,904世帯の23.3%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は296,837世帯(同76.7%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が122,101世帯(同31.6%)、「女性のみ」の世帯が43,523世帯(同11.2%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が29,005世帯(同7.5%)となっている。

図1 秋田県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

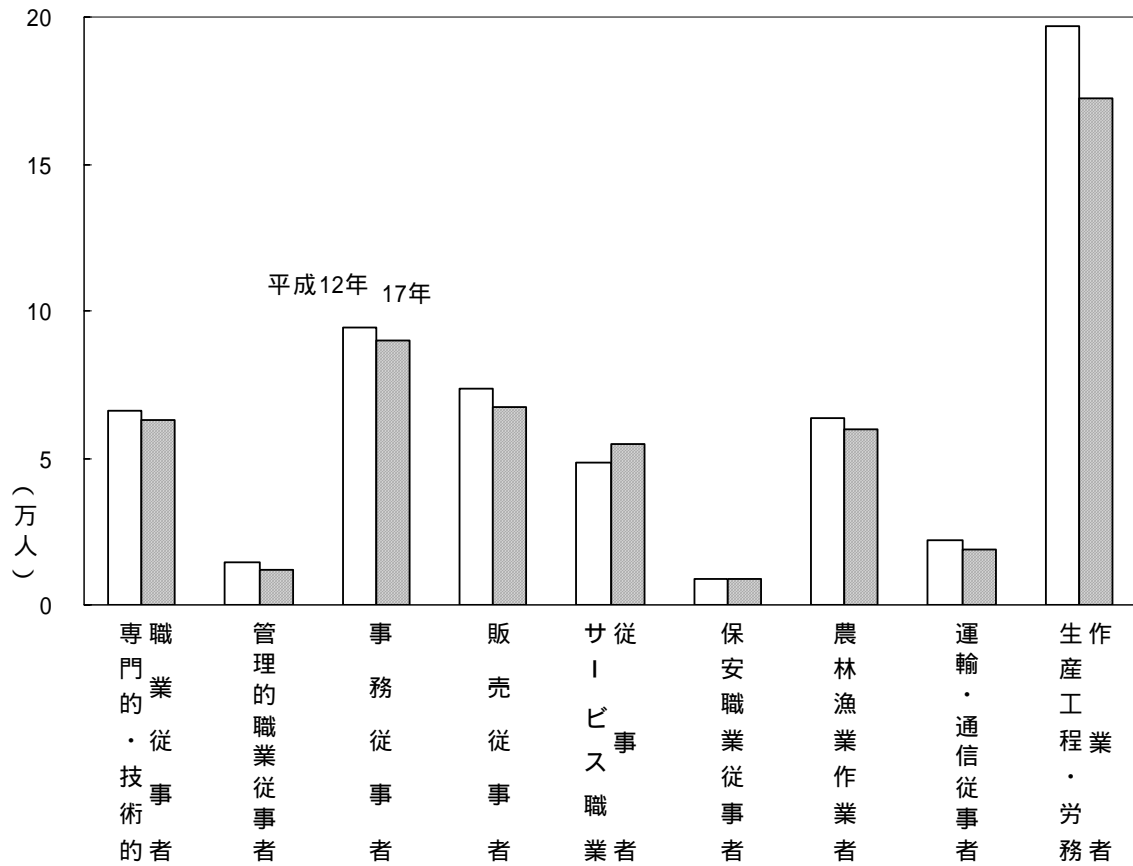


図2 秋田県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

